

部局名	安全環境部	所属名	環境保全課	所属長名	頭司 孝弘	電 話	483-1151 内線3210
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード		4225		事務事業名称		環境保全総務事業					短縮コード		経常	4225	臨時	4226	
予算区分		会計	01	一般会計		款	04	衛生費		項	01	保健衛生費		目	04	公害対策費	
区 分		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務  <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等		八千代市環境審議会規則，習志野市・八千代市環境保全連絡会議設置要綱，八千代市環境保全計画推進会議設置要領，八千代市環境保全計画，環境基本法，環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律，八千代市環境基本条例，環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																	
<p>（環境白書）昭和４７年３月より開始。市民生活において公害等のない住みよいまちづくり，公害等を含む生活環境・自然環境に対する理解を深めてもらうため。</p> <p>（習志野市・八千代市環境保全連絡会議）平成１１年４月より開始。習志野市及び八千代市の区域に係る公害発生を未然に防止し，環境保全対策を効果的に推進していくことを目的としている。</p> <p>（環境審議会）昭和４７年６月設置。公害対策基本法第３０条及び八千代市公害防止条例第１１条の規定により市の公害対策に関する基本的事項を調査審議させる為，市長の諮問機関として。平成５年１１月の環境基本法制定に伴い，八千代市環境基本条例により八千代市公害対策審議会から八千代市環境審議会へ名称変更した。</p> <p>（子ども環境教室）今日の環境問題を解決するためには、次世代を担う子供たちが早くから環境へ関心を持つことが肝要である。このような目的を果たすための有効な施策として、子ども環境教室が事業化された。</p>																	
事務事業を取り巻く状況の変化　又、今後の変化の推測						総合計画の 施策体系	6本の柱（章）		03	第３章環境共生都市をめざして							
<div>・環境全般に対する市民意識の向上</div> <div>・多様な環境問題の発生が予想される</div> <div>・平成２３年６月に「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」が公布され、環境保全活動・環境教育の一層の推進が求められる</div> <div>。子ども環境教室はこのような法律の趣旨に沿うものであり、今後重要性は更に増すものと考えられる</div>							大項目（節）		01	第１節環境との共生・保全							
							中　項　目		01	1. 生活環境							
							小項目（施策）		01	(1)環境保全対策の推進							
									04	(4)環境状況の情報提供							
							細　項　目		01	①環境保全計画の推進							
99	環境状況の情報提供(細項目なし)																
						実施計画の 計　画　事　業											
計画事業の位置付けの有無				<input type="checkbox"/>	計　画　事　業　期　間		～			計　画　事　業　費		千円					

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	・市民及び事業者に対して八千代市の環境（環境白書）発行事業 ・習志野市・八千代市環境保全連絡会議運営事業…両市担当職員 ・環境審議会…市民及び事業者に対して ・八千代市環境保全計画の実施…市職員及び市民に対して ・子ども環境教室…市内の小学校4・5・6年生										
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： ・八千代市の環境状況や環境の保全に関する施策の実施状況や環境に関するデータ等を取りまとめて冊子にして配布又はホームページに掲載し，市民等に広く公表した。 ・環境保全に関する調査研究及び情報交換 ・環境審議会の開催 ・子ども環境教室の開催										
	※平成25年度に計画していること： ・八千代市の環境状況や環境の保全に関する施策の実施状況や環境に関するデータ等を取りまとめて冊子にして配布又はホームページに掲載し，市民等に広く公表する。 ・環境保全に関する調査研究及び情報交換 ・環境審議会の開催 ・子ども環境教室（新川でのEボート体験）の開催										
意図 （何を狙っているのか）	・市民及び事業者に対し，八千代市の生活環境や自然環境について理解を深めてもらう。 ・他市との環境行政の協働、知識向上 ・環境保全計画に関すること，環境の保全に関する基本事項を諮問する ・子ども環境教室では、子供たちが自然とふれあう体験学習を行うことにより、環境問題を学び理解を深める。										
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外										
区 分				単位	23年度		24年度		25年度		
					実績		計画		実績		計画
対象指標	指標1	市民		人	192,884		199,500		192,951		202,600
	指標2	審議会委員及び保全計画推進委員数		人	20		20		20		20
	指標3	市内小学4・5・6年生の児童数		人	5,846		5,938		5,882		5,957
活動指標	指標1	環境白書発行部数		冊	100		100		100		100
	指標2	環境審議会及び環境保全計画推進会議の開催日数		日	3		2		2		3
	指標3	子ども環境教室への参加者		人	31		30		9		48
成果指標	指標1	環境白書発行部数		冊	100		100		100		100
	指標2	環境審議会への諮問件数		件	0		0		0		0
	指標3	子ども環境教室への参加者数		人	31		30		9		48
上位成果指標	指標1										
	指標2										
	指標3										

コード		4225	事務事業名称	環境保全総務事業			所属名	環境保全課
			単位	2 3 年度	2 4 年度		2 5 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	0	323	249	400	
		その他	千円				400	
	主な事業費の内訳			平成24年度から新規事業として組替えたため。	報酬 85千円 報償費 117千円 旅費 9千円 消耗品 105千円 負担金 7千円	報酬 43千円 報償費 89千円 旅費 8千円 消耗品 103千円負担金 6千円	報酬 169千円 報償費 129千円 旅費 9千円 消耗品 84千円 修繕料 50千円 保険料 16千円 委託料 337千円 負担金 6千円	
人件費 (B)			千円	0	0	6,877.5	6,877.5	
トータルコスト (A) + (B)			千円	0	323	7,126.5	7,677.5	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由					
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている		上位の施策「環境保全対策の推進」「環境状況の情報提供」に結びついている。					
			<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある							
			<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない							
			<input type="checkbox"/> 評価対象外事項							
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		<input type="checkbox"/> 達成している		目的達成のため、今後も継続していく。					
			<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない							
			<input type="checkbox"/> 評価対象外事項							
	③民営化で目的を達成できるか？  ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		<input type="checkbox"/> 可能性はある		市民生活の環境に関わることであり、事業活動に直接的な利害関係を有しない者（市）が主導すべきものであり、その内容は公共性が高く民営化になじまないため。					
<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない										
<input type="checkbox"/> 評価対象外事項										
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい		所期目的の変更はなく、現状の「対象」・「意図」の設定で結果に結び付く。						
		<input type="checkbox"/> 見直す必要がある								
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項								
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある		現時点において効果的に事業を推進しているため。					
			<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある							
			<input type="checkbox"/> 両方可能性はある							
			<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない							
		⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		<input type="checkbox"/> 民間委託等						
				<input type="checkbox"/> 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用						
				<input type="checkbox"/> ＩＴ化等の業務プロセスの見直し						
				<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し						
				<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 （所管部署）	
				<input type="checkbox"/> 上記以外の方法			2		実施主体 （所管部署）	
		⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		<input type="checkbox"/> ある						
				<input type="checkbox"/> ない						

コード	4225	事務事業名称	環境保全総務事業				所属名	環境保全課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続			・環境白書の発行等により本市環境行政に対する理解を深めてもらう。 ・審議会等において、市民の参加と市民意識の反映を図る。 ・子ども環境教室において、将来を担う子供たちの環境学習の質を高める。			
		<input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善						
		<input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小						
		<input type="checkbox"/> 統合・役割見直し						
	<input type="checkbox"/> その他							
<input type="checkbox"/> 廃止・休止								
<input type="checkbox"/> 事業完了								
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			経費については不変であるが、継続的に事業を推進して成果はさらなる向上を図る。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・子ども環境教室…普段体験できないことを経験したと参加者からは好評を得ている。									

所属長コメント	「八千代市環境基本条例」，「八千代市環境審議会規則」等に基づき環境施策，計画の策定，事業の執行管理，環境保全を目的とした広域的な活動や環境団体等との連携など，環境行政全般に渡る事業であり，今後も当該事業は推進していく。								
評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続			担当課評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	<input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善								
	<input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小								
	<input type="checkbox"/> 統合・役割見直し								
<input type="checkbox"/> その他									
<input type="checkbox"/> 廃止・休止									
<input type="checkbox"/> 事業完了									
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続									